

保護者・地域等学校関係者の皆様への教育長メッセージ ⑥

『全国都市教育長会（長崎大会）』に参加して

今年度の全国都市教育長会総会・研修会は長崎市で開催されました。人口減少、子どもの少子化が進む中、これからの学校のあり方（学校の統合、校区の見直しや学級定数）について協議をしました。いずれにしても学校運営協議会（CS）の力を活用した学校運営がテーマとなりました。中学校の部活動の地域移行についても先進地の報告を聞きました。指導者と謝金の問題が残っています。ICT教育の進み具合についてもお話を聞きました。愛知県の教育長さんたちとは「県民の日」「ラーケーション」「ラーケーションモデル事業」「講師・非常勤講師の状況」について情報交換をすることができました。

その後で、観光都市長崎の社会教育施設を見学しました。原爆資料館では被爆者の方から被爆体験の話を伺いました。また、大浦天主堂では潜伏キリシタンの話、中でも1865年の信徒発見の話に感激しました。江戸幕府や諸藩によるキリスト教弾圧により、長崎にはキリスト教を信ずる人がいなくなったと思われていました。幕末、開国に伴い教会がつくられると250年間信仰を守ってきた人たちがあらわれたのです。プティジャン神父は潜伏キリシタンの人たちの信仰告白に感激し、ローマ法王に報告しました。

天草四郎がたてこもった原城跡と有馬キリシタン遺産記念館も訪ねることができました。原城が思っていたより広いことに驚きました。三方が海に面しているため、幕府軍はてこずっただろうと想像できました。キリシタン遺産記念館では、踏絵やキリシタン灯籠を見学しました。

5月14日蛭間小で、150周年なかよしコンサートが行われました。地域や保護者の皆様のご協力で、新沢としひこ氏と山野さとこ氏による素晴らしいコンサートとなりました。コンサートでは子どもたちも歌い、手拍子を取り、楽しくおどりました。「にじ」「世界中の子どもたちが」「ドラえもんの歌」など名曲を聞かせていただきました。

5月の定例教育委員会では「教職員の確保」について協議していただきました。ブラックと言われ続ける教職をプラスのイメージにチェンジできるかについて話し合いました。働き方の改革と共に、教職の魅力や夢について語っていかねばならないと思いました。

若葉風真一文字の飛行機雲

令和6年6月3日

津島市教育委員会
教育長 浅井厚視